〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

子どもの貧困調査研究コンソーシアム

秘密情報管理委員会委員長　殿

提供申請者：〇〇〇〇

秘密情報の提供について

　標記の件について、子どもの貧困調査研究コンソーシアム「秘密情報の管理・利用に関する方針」に基づき、別紙のとおり、秘密情報の提供を申請致します。

**秘密情報の提供申請書**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 西暦 |  | 年 |  | 月 |  | 日 |

子どもの貧困調査研究コンソーシアム

秘密情報管理委員会委員長　殿

子どもの貧困調査研究コンソーシアム秘密情報の管理・利用に関する方針に基づき、下記のとおり申請します。

【提供申請者（利用者）】

（氏名・連絡先）

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな |  |
| 氏名 |  |
| TEL |  |
| E-mail |  |
| 自宅住所 | 〒 |

（参加機関）

|  |  |
| --- | --- |
| 参加機関名 | 東京都立大学大学院人文科学研究科 |
| 職名 |  |
| 所在地 | 〒192-0397東京都八王子市南大沢１丁目1番地 |

（本務校・本務機関）※本務校・本務機関が参加機関と異なる場合に記入

|  |  |
| --- | --- |
| 本務校名・本務機関名 |  |
| 職名 |  |
| 所在地 | 〒 |

１．提供申請する秘密情報の名称及び年次

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 | 年次 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

２．秘密情報の利用目的

(1)学術研究目的

①学術研究の名称

|  |
| --- |
|  |

②学術研究の必要性（300文字以内）

|  |
| --- |
|  |

③学術研究の内容、作成する統計等の内容（300文字以内）

|  |
| --- |
|  |

④研究計画

|  |
| --- |
|  |

(2)学術研究以外の利用目的

|  |
| --- |
|  |

(3)成果の公表方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 名称 | 公表予定時期（年月） |
| 学会誌・大学紀要等 |  |  |
|  |  |
| 報告書 |  |  |
|  |  |
| 学会・研究会等 |  |  |
|  |  |
| その他 |  |  |
|  |  |

※各公表方法内で2つまで

３．秘密情報の利用期間

(1)提供希望日

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 西暦 |  | 年 |  | 月 |  | 日 |

(2)利用終了日

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 西暦 |  | 年 |  | 月 |  | 日 |

※最長で当該年度の3月31日まで

４．秘密情報の管理

(1)秘密情報の利用場所、保管場所

|  |  |
| --- | --- |
| 利用場所 |  |
| 保管場所 |  |

(2)秘密情報の適正管理措置事項の同意

1. 秘密情報の利用場所（秘密情報ファイルの保管を含む）は、施錠可能な物理的な場所に限定されるとともに、秘密情報の利用時に秘密情報の利用場所に存在するものが制限される、または何らかの確認行為が行われるなど、利用場所への入退室管理を行う。
2. 秘密情報は限定された媒体に格納され、当該媒体が施錠可能なキャビネット等で保管される。また、秘密情報を利用する電子計算機がワイヤー等で固定される。さらに、利用場所から秘密情報が不正に持ち出されないための保安対策が図られている。
3. 複製した秘密情報及び集計作業等によって生成される中間生成物の削除、秘密情報等が記録された機器等の廃棄は、専用ツールを用いるなどにより復元不可能な手段で行う。
4. 秘密情報を使用する情報システムに識別及び主体認証、スクリーンロック等の不正操作対策が図られ、利用者以外の者が秘密情報及び中間生成物を保管している電子計算機にアクセスできない。
5. 秘密情報を使用する情報システムに、コンピューターウイルス対策、セキュリティホール対策等の不正アクセス行為防止措置が図られている。
6. 外部ネットワークに接続する可能性のある電子計算機や利用者以外の者が使用する電子計算機を利用する場合は、オフラインで集計作業等を行い、作業後は当該電子計算機に秘密情報及び中間生成物を残留させない、ダウンロードやアップロードの監視を行うなど、秘密情報及び中間生成物（廃棄物含む）の漏えい等事故を防止するための措置が行われる。
7. 秘密情報の漏えい、滅失又は毀損の発生又はその兆候を把握した場合は、直ちに被害拡大の防止、二次被害や類似事案の発生防止等の措置を図るとともに、所属する研究機関の秘密情報管理委員に報告する。

|  |
| --- |
| [ ] 上記秘密情報の適正管理措置を講ずることに同意する。 |

５．過去の提供履歴

子どもの貧困調査研究コンソーシアム秘密情報の管理・利用に関する方針に基づき、過去に秘密情報の提供を受けたことがありますか。

|  |  |
| --- | --- |
| [ ] ある | [ ] ない |

**秘密情報の利用に関する宣誓書**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 西暦 |  | 年 |  | 月 |  | 日 |

子どもの貧困調査研究コンソーシアム

　秘密情報管理委員会委員長　　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 提供申請者 | 参加機関名 | 東京都立大学大学院人文科学研究科 |
|  | 職名 |  |
|  | 氏名 |  |

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日付けで提供申請を行った秘密情報の利用に当たり、「秘密情報の管理・利用に関する方針」を遵守することを誓約いたします。

特に重要な事項

* 学術研究の用に供することを主たる目的とするものであること（第5条）
* 秘密情報を利用して行った学術研究の成果が公表され、社会に還元されること（第5条）
* 第6条に定める秘密情報を適正に関するために必要な措置が講じられていること（第5条）
* 利用者は、秘密情報の漏えい、滅失又は毀損の発生又はその兆候を把握した場合は、直ちに、被害拡大の防止、二次被害や類似事案の発生防止等の措置を図るとともに、秘密情報管理委員会細則第4条に定める所属する参加機関の秘密情報管理委員会委員（以下、「管理委員」という。）に報告するものとする（第7条1）。
* 利用者が、本方針に基づきコンソーシアムより提供を受けた秘密情報を用いた研究成果を公表する場合は、その30日前までに、別紙様式3をもって、秘密情報管理委員会に利用報告するものとする（第8条2）。
* 利用者が、本方針に基づきコンソーシアムより提供を受けた秘密情報を用いた研究成果を公表した場合は、当該年度の3月末までに別紙様式4ならびに当該資料をもって、秘密情報管理委員会に成果報告するものとする（第8条3）。